RFD　リヤファイナルドライブ

作業上の注意 2
・注意 2
準備品 3
・特殊工具 3
オイル 6
・交換 6
・点検 6
リヤファイナルドライブシステム 7
・構造断面図 7
フロントオイルシール 8
・取り外し、取り付け 8
サイドオイルシール 9
・取り外し、取り付け 9
リヤカバーガスケット 10
・交換 10
リヤファイナルドライブ ASSY 11
・取り外し、取り付け 11
・電制カップリングブリーザーホース 12
・リヤファイナルドライブブリーザーホース 12
・分解図 13
・分解前の点検 14
・分解、組み立て 19
サービスデータ 28
・リングギヤ振れ 28
・サイドギヤクリアランス調整 28
・ドライブピニオンプリロード調整 28
・サイドベアリングプリロード調整 28
・トータルプリロード 28

作業上の注意

PFP:00001

注意

JDS000PA

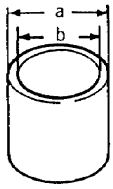
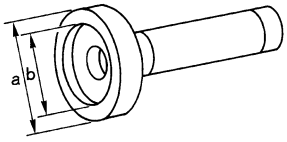
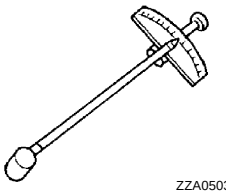
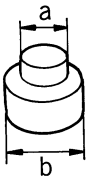
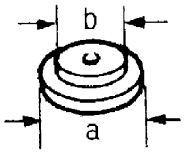
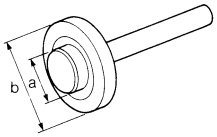
- 整備車両の故障現象を十分把握した上で故障診断を確実に行い、系統だてた正しい作業を行う。
- 取り外し又は分解作業をする場合、あらかじめ正規の取付状態を確認しておく。必要に応じて機能に影響の無い部位に合いマークを付ける。
- 分解作業は清潔な場所で行い、できれば防じん室での作業が望ましい。
- 分解前にスチーム、ホワイトガソリンなどでユニット外部に付着している砂及び泥などをよく洗浄し、分解及び組み付け時に内部に入らないようにする。
- 分解した各部品は必ず外観に損傷、変形、異常摩耗がないことを確認し、不具合がある場合は新品と交換する。
- ロックピン、オイルシール、ベアリングは原則として分解ごとに新品と交換する。
- 部品を交換する場合は、日産純正品を使用する。
- ボルト、ナットの締め付けは、原則として中心より外側に対角線方向へ 2 ～ 3 回に分けて徐々に締め付け、特に順序を規定している箇所はその指示に従う。
- 各部品は十分に洗浄、清掃しエアブローをする。
- しゅう動面、合わせ面には傷を付けないよう注意する。
- シール剤を塗布面及び取り付面に付着した水分、油分、異物などは除去すること。
- 内部の構成部品の洗浄は必ずペーパーウエスを使用する。
- 綿手袋及びウエスなどは糸クズの混入防止のため使用しないこと。
- 組み付け時は規定トルクを遵守し、各部品には必ず車両毎に指定された新しいニッサンデフオイル又はワセリン、ニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布しながら行う。
- 抜き取ったオイルは使用しないこと。また、オイル交換後の廃油、部品の洗浄油などは、法令、条例などで定められた方法により処理すること。

準備品

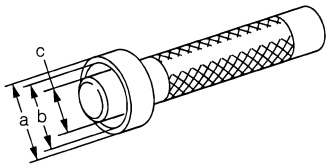
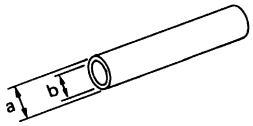
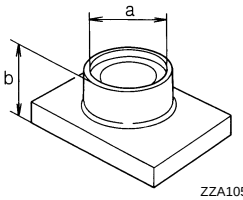
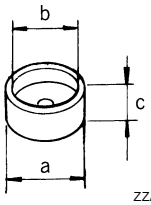
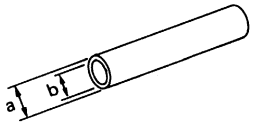
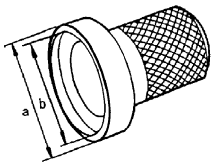
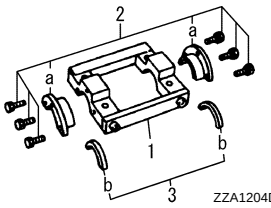
PFP:00002

特殊工具

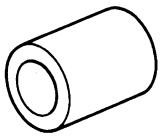
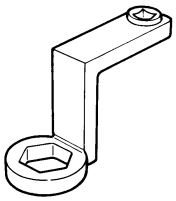
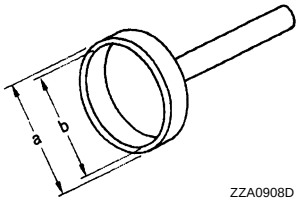
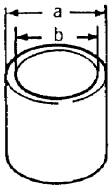
JDS000PB

名称	用途
ドリフト ST2786 1000 a：**ϕ**62mm b：**ϕ**52mm  ZZA0832D	**ファイナルドライブフロントオイルシール取り付け**
ドリフト KV381 00200 a：**ϕ**65mm b：**ϕ**49mm  ZZA1143D	• **ファイナルドライブフロントオイルシール取り付け** • **ファイナルドライブサイドオイルシール取り付け**
プリロードゲージ ST3127 S000  ZZA0503D	**プリロードトルク測定**
ドリフト ST3305 2000 a：**ϕ**22mm b：**ϕ**28mm  ZZA1023D	• **サイドベアリングインナー取り外し**
ドリフト KV401 00610 a：**ϕ**63mm b：**ϕ**54.3mm  ZZA0810D	• **キャリヤケース** ASSY **及びリヤカバー脱着（**2 **個使用）** • **ピニオンフロントベアリングインナーレース取り付け**
ピンポンチ ST23550000 **先端径：ϕ**4.5mm ZZA0815D	**ロックピン脱着**
ドリフト ST1713 0000 a：**ϕ**31.8mm b：**ϕ**58mm  ZZA0836D	**ピニオンリヤベアリングアウターレース取り付け**

準備品

名称	用途
ドリフト ST3323 0000 a：φ51mm b：φ41mm c：φ28.5mm  ZZA1046D	**ピニオンフロントベアリングアウターレース取り付け**
ドリフト ST2386 0000 a：φ38mm b：φ33mm  ZZA0534D	• **ピニオンリヤベリングインナーレース取り付け** • **ピニオンフロントベアリングインナーレース取り付け**
プレススタンド ST3822 0000 a：φ63mm b：65mm  ZZA1058D	**ピニオンフロントベアリングインナーレース取り付け**
ドリフト KV401 05020 a：φ39.7mm b：φ35mm c：15mm  ZZA1133D	**サイドベアリングインナーレース取り付け**
ドリフト ST2235 0000 a：φ34mm b：φ28mm  ZZA0534D	**カップリングフロントベアリング取り付け**
ドリフト ST3340 0001 a：φ60mm b：φ47mm  ZZA0814D	**カップリングカバーオイルシール取り付け**
ダミーカバーセット KV381 086S0 1. **ダミーカバー** KV381 08610 2. **ダミーカバースペーサー** KV381 08620（**ボルト付き**） a：KV381 08620 ー 1 3. **ダミーカバーシム** KV381 08630 b：KV381 08630 ー 1  ZZA1204D	• **バックラッシュ点検** • **ドライブギヤ背面振れ点検** • **歯当たり点検**

準備品

名称	用途
ドライブピニオンソケット KV381 08500  ZZA1205D	• **プリロードトルク測定** • **ピニオンナット脱着**
ピニオンナットレンチ KV381 08400  ZZA1206D	**ピニオンナット脱着**
オイルシールドリフト ST1531 0000 a：φ96mm b：φ84mm  ZZA0908D	**センターオイルシール取付け**
サポートリング KV401 04710 a：φ76.3mm b：φ67.9mm  ZZA0832D	**センターオイルシール取付け**

オイル

PFP:00024

交換

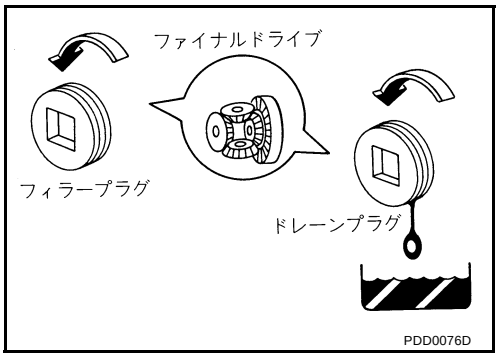
JDS000PC

交換時期

自家用　　：分解整備時にのみ給油
（シビアコンディション時：60,000km ごと）

レンタカー　　：100,000km 又は 2 年ごと

参考：シビアコンディション時とは、厳しい条件での走行（悪路、山道、登降坂道）が走行距離の 30% 以上の場合に該当する。



抜き

1. ドレーンプラグを外し、デフオイルを抜き取る。
   参考：フィラープラグを先に外すとデフオイルの抜けが良い。
2. ドレーンプラグをファイナルドライブに取り付け、規定トルクで締め付ける。
   注意：ドレーンプラグのガスケットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

締付トルク　　：30 ～ 39N-m　{3.0 ～ 4.0{kg-m}}

注入

1. フィラープラグを外し、新品のデフオイルを給油する。

使用オイル
：ニッサンデフオイルハイポイドスーパー GL-5 80W-90

オイル量　　：約 0.55 ﾘｯﾄﾙ

2. フィラープラグをファイナルドライブに取り付け、規定トルクで締め付ける。
   注意：フィラープラグのガスケットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

締付トルク　　：30 ～ 39N-m　{3.0 ～ 4.0kg-m}

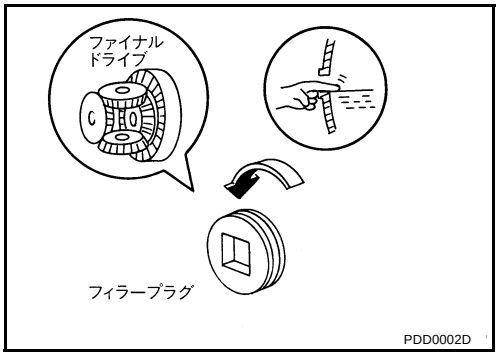
点検

JDS000PD

液漏れ及び油面高さ

1. 漏れがないか、油面高さは適切か点検する。
2. フィラープラグをファイナルドライブに取り付け、規定トルクで締め付ける。
   注意：フィラープラグのガスケットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

締付トルク　　：30 ～ 39N-m　{3.0 ～ 4.0kg-m}

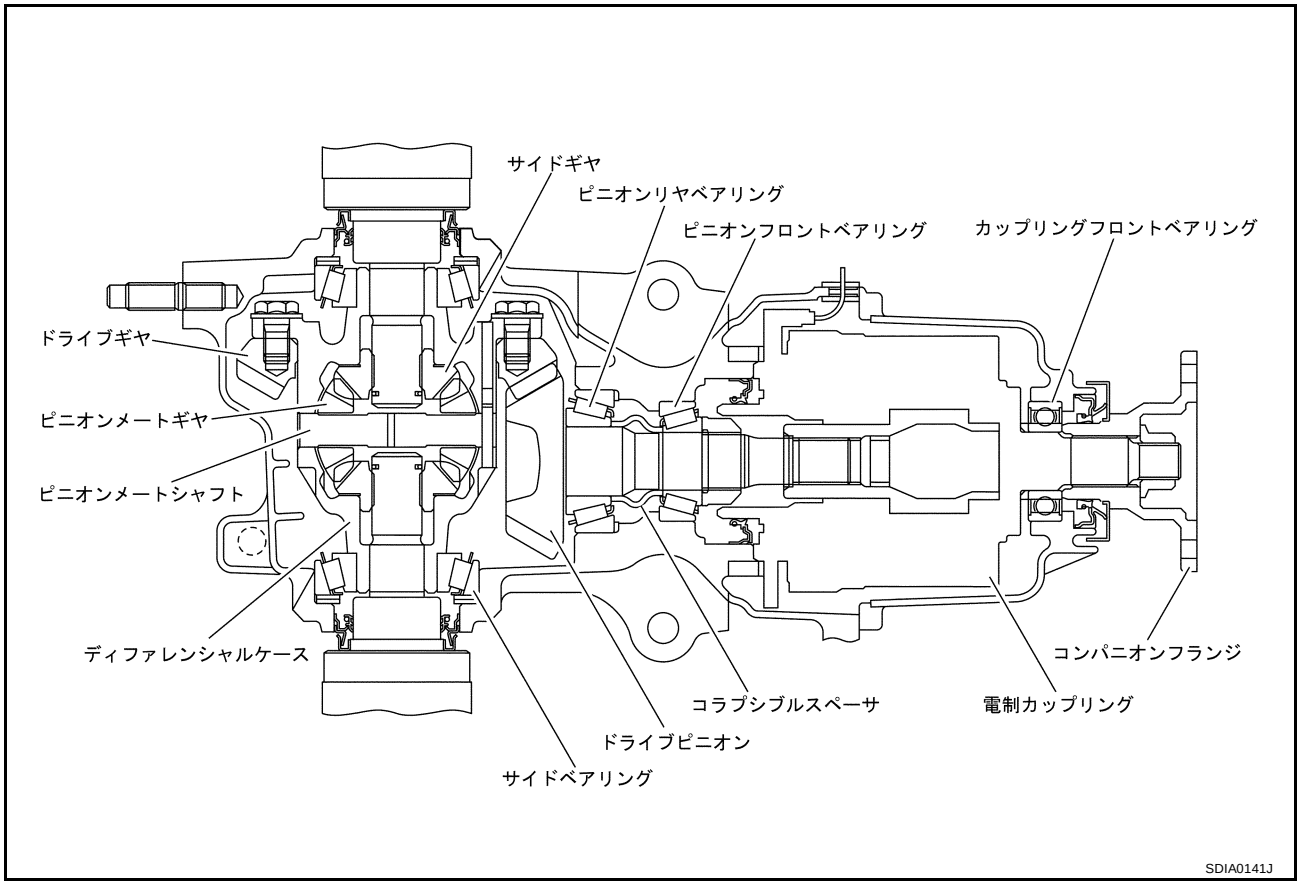


リヤファイナルドライブシステム

PFP:38300

構造断面図

JDS000PE



フロントオイルシール

PFP:38189

取り外し、取り付け

JDS000PF

取り外し

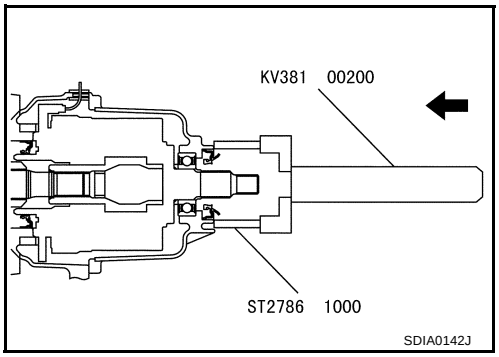
1. プロペラシャフトを取り外す。「取り外し」(PR-2 ページ) を参照のこと。
2. ファイナルドライブのコンパニオンフランジと電制カップリングのネジ部先端に合いマークを付ける。

   注意： 合いマークはペイントなどを使用し、傷を付けないこと。
3. デフフランジツール（汎用工具）を用いて、コンパニオンフランジナットを外し、コンパニオンフランジを取り外す。
4. マイナスドライバーなどを用いて、オイルシールを取り外す。

取り付け

1. オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布し、図のようにドリフト（特殊工具）を用いて、ケース端面と面一となるようにオイルシールを取り付ける。

   注意：
   - オイルシールは傾かないように取り付けること。
   - オイルシールは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



2. コンパニオンフランジの合いマークと電制カップリングの合いマークを合わせてコンパニオンフランジを取り付ける。
3. コンパニオンフランジナットを取り付け、デフフランジツール（汎用工具）を用いて、規定トルクで締め付ける。

   締付トルク (N·m{kg·m})　：100 ～ 122 {10.1 ～ 12.5}

   注意： コンパニオンフランジナットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
4. プロペラシャフトを取り付ける。「取り付け」(PR-4 ページ) を参照のこと。

サイドオイルシール

PFP:38343

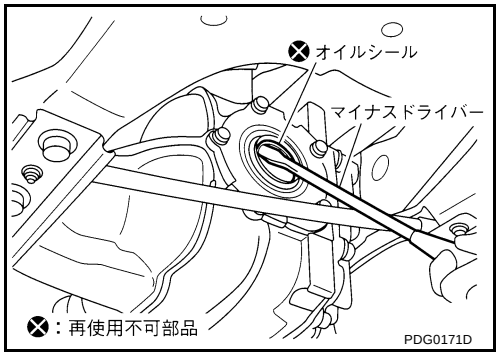
取り外し、取り付け

JDS000PG

取り外し

1. ドライブシャフトを取り外す。「リヤドライブシャフト」「取り外し」(RAX-11 ページ) を参照のこと。

2. 図のようにマイナスドライバーを用いて、オイルシールを取り外す。

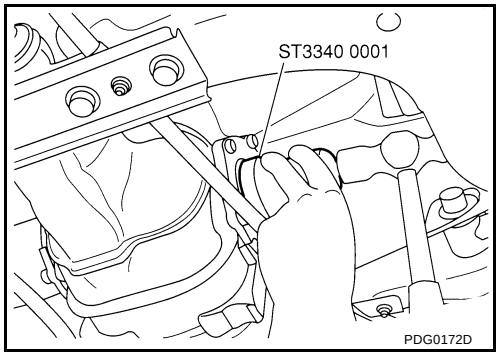


取り付け

1. オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布し、図のようにドリフト（特殊工具）を用いてオイルシールを取り付ける。

   注意：
   - オイルシールは傾かないように取り付けること。
   - オイルシールは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

2. ドライブシャフトを取り付ける。「リヤドライブシャフト」「取り付け」(RAX-11 ページ) を参照のこと。



リヤカバーガスケット

PFP:38320

交換

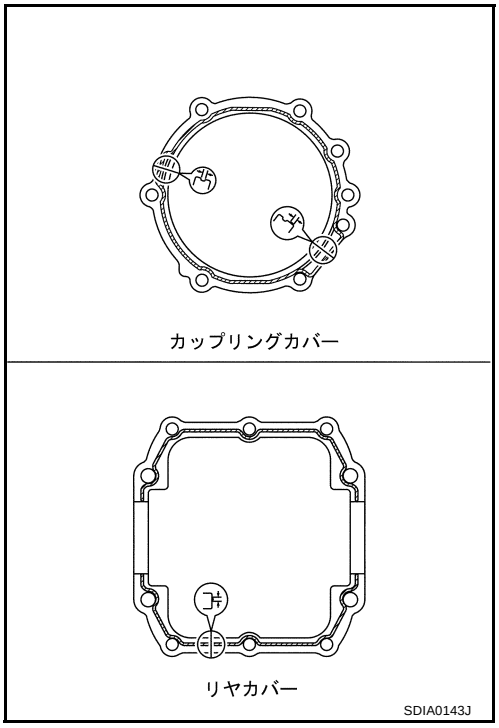
JDS000PH

- カップリングカバーのギヤキャリヤあわせ面にスリーボンド 1217 又は相当品を図のように塗布する。ビードの始まりと終わりは 3mm 以上ラップさせること。

  注意： 取付面に付着した古いシール剤は取り除き、塗布面及び取付面に付着した水分、油分、異物などは除去すること。

- リヤカバーのキャリヤケース取付面にスリーボンド 1217 又は相当品を図のように塗布すること。

  注意： 取付面に付着した古いシール剤は取り除き、塗布面及び取付面に付着した水分、油分、異物などは除去すること。

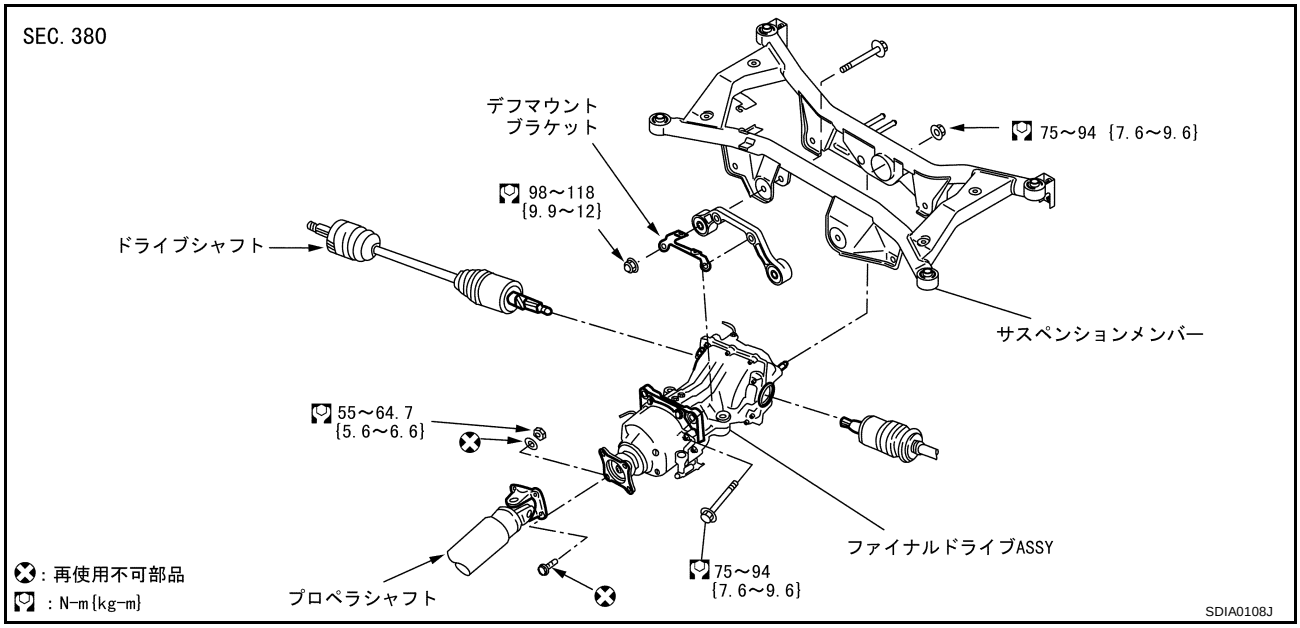


リヤファイナルドライブ ASSY

PFP:38300

取り外し、取り付け

JDS000PI



取り外し

1. リヤサスペンション ASSY を取り外す。「リヤサスペンション ASSY」(RSU-4 ページ) を参照のこと。
2. プロペラシャフトを取り外す。「取り外し、取り付け」(PR-2 ページ) を参照のこと。
3. ドライブシャフトを取り外す。「取り外し、取り付け」(RAX-11 ページ) を参照のこと。
4. ABS センサーコネクターを取り外す。「取り外し、取り付け」(BRC-23 ページ) を参照のこと。
5. エアブリーザーホース（電制カップリング及びリヤファイナルドライブとも）を取り外す。「電制カップリングブリーザーホース」(RFD-12 ページ)「リヤファイナルドライブブリーザーホース」(RFD-12 ページ) を参照のこと。
6. ブレーキチューブを取り外す。（ブレーキ配管のエア抜きを含む）「リヤブレーキパイピング・ブレーキホースの取り外し、取り付け」(BR-10 ページ) を参照のこと。

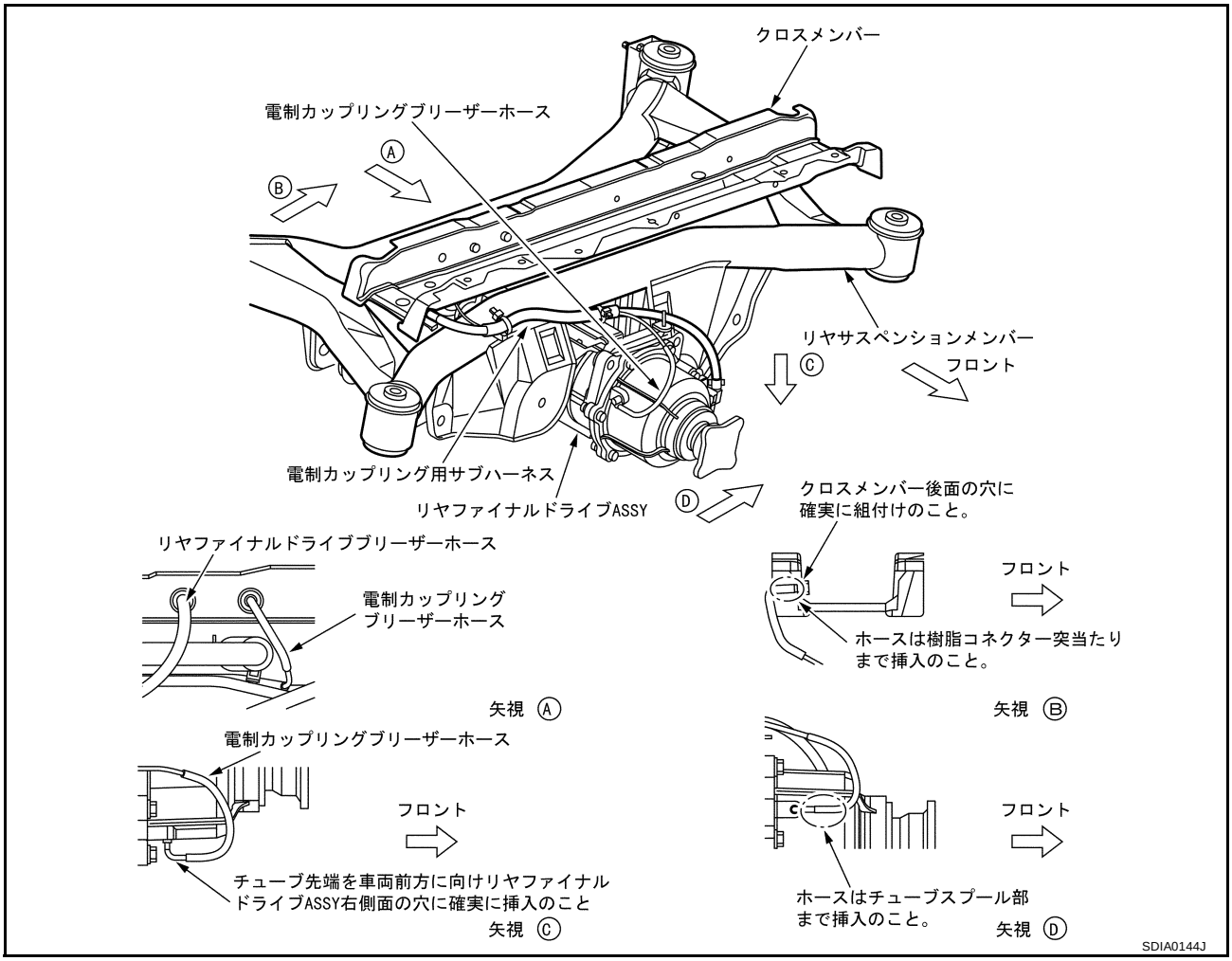
取り付け

取り外しの逆の手順で行う。

注意：
- 取り付け後ブレーキのエア抜き、ファイナルドライブのオイル量点検を行うこと。
- エアブリーザーホースとエキゾーストチューブの間隔を 40mm 以上確保すること。

電制カップリングブリーザーホース

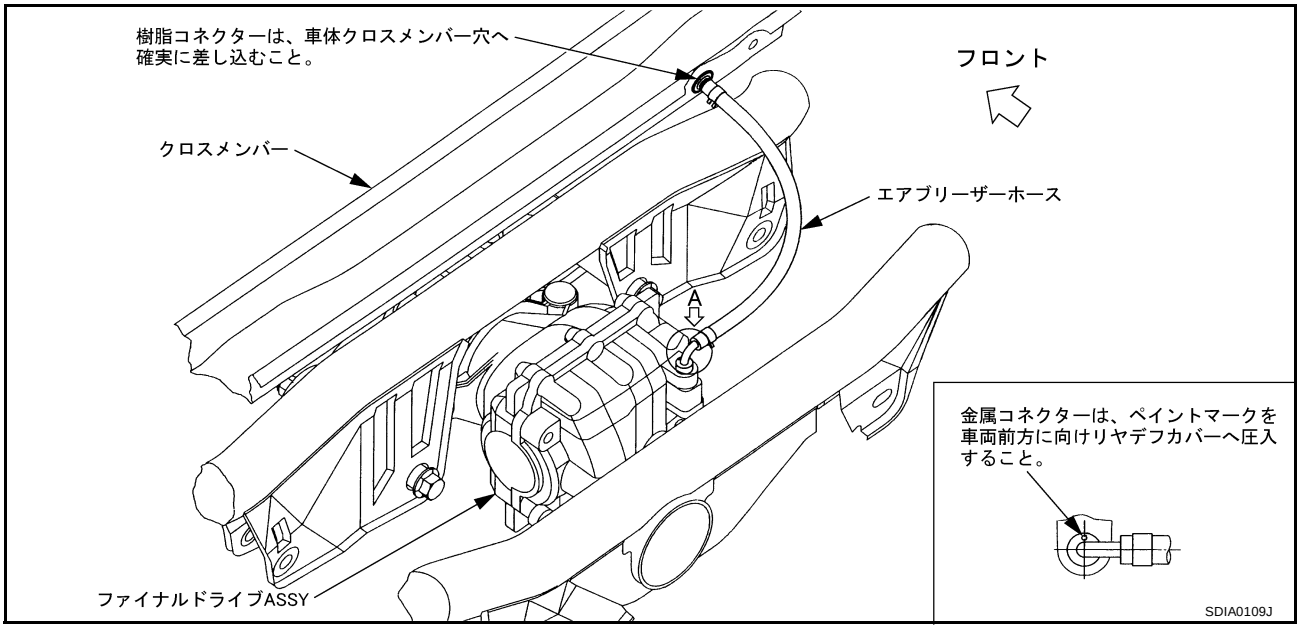
JDS000PJ



注意：
- **電制カップリングブリーザーホースの脱着要領については、図を参照のこと。**
- **電制カップリングブリーザーホース取り付け時、折れ、曲がりなどによるつぶれ、つまりがないようにすること。**

リヤファイナルドライブブリーザーホース

JDS000PK

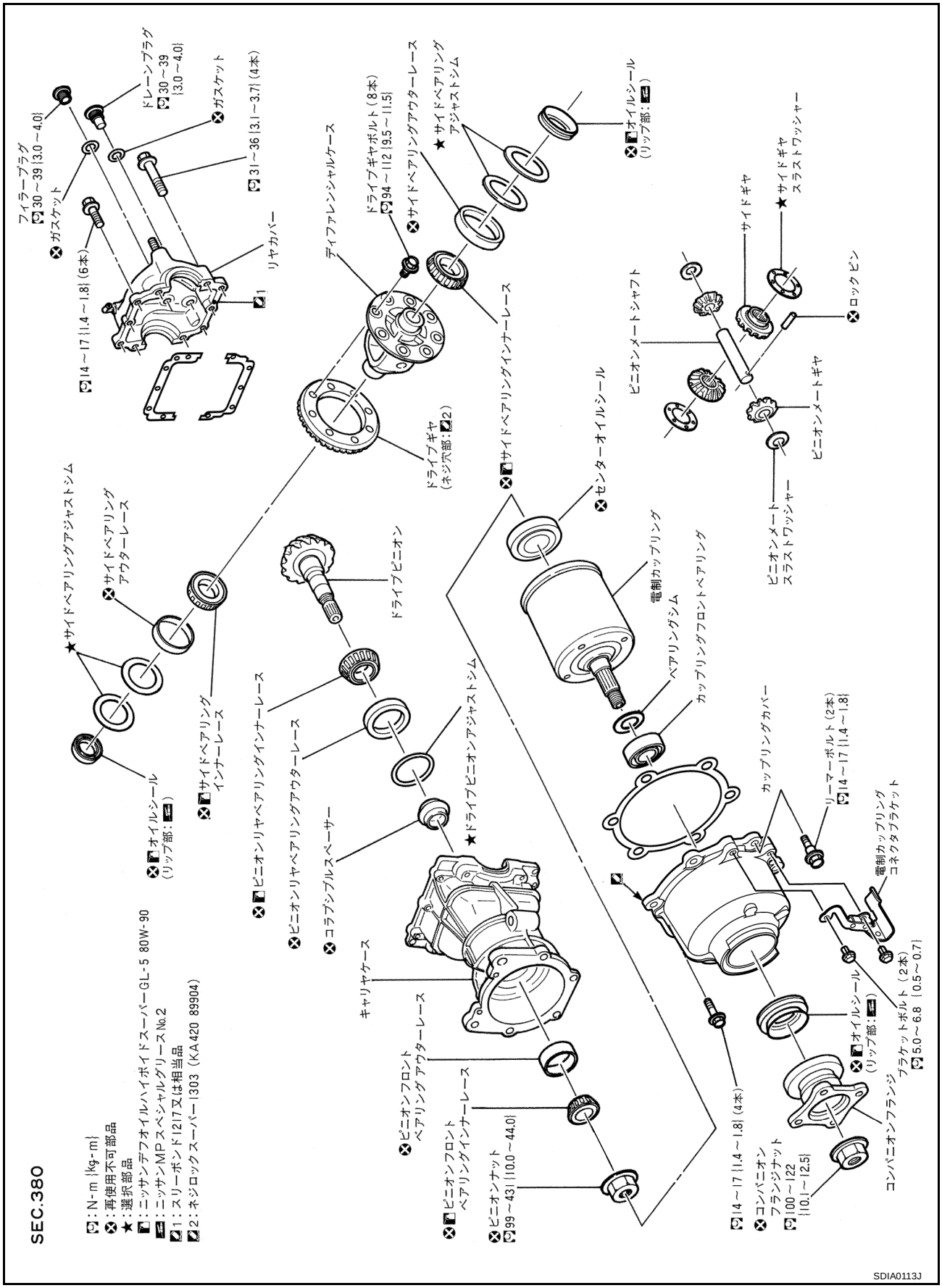


注意：
- **リヤファイナルドライブブリーザーホースの脱着要領については、図を参照のこと。**

- リヤファイナルドライブブリーザーホース取り付け時、折れ、曲がりなどによるつぶれ、つまりがないようにすること。

分解図

JDS000PL

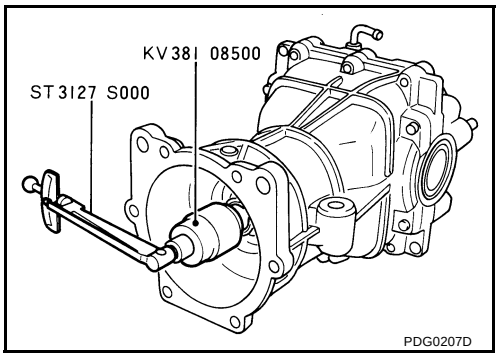


分解前の点検

JDS000PM

トータルプリロードトルク

1. オイルを抜き取る。
2. 電制カップリング ASSY を取り外す。「電制カップリング ASSY 取り外し」(RFD-19 ページ) を参照
3. ドライブピニオンを 2 ～ 3 回往復回転させ、異音、回転不良などがないことを確認する。
4. ドライブピニオンを 20 回以上回転させ､ベアリングをなじませる。
5. ドライブピニオンのスプライン部にドライブピニオンソケット（特殊工具）をセットし、プリロードゲージ（特殊工具）を用いて、トータルプリロードトルクを測定する。



トータルプリロードトルク　：1.33 ～ 2.15N·m
{0.135 ～ 0.22kg·m}

- 基準値を外れる場合は分解し、各部の点検及び調整を行い、ピニオンベアリング及びサイドベアリングのプリロードを調整する。
  なお､プリロードの調整はピニオンベアリングのプリロードを先に調整した後、サイドベアリングのプリロードを調整する。

プリロードトルクが大きい場合
ピニオンベアリング部　：コラプシブルスペーサーを交換する
サイドベアリング部　：サイドベアリングアジャストシムを薄くする

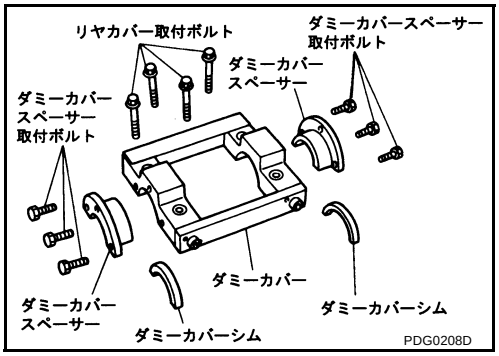
プリロードが小さい場合
ピニオンベアリング部　：ピニオンナットを締め込む
サイドベアリング部　：サイドベアリングアジャストシムを厚くする

サイドベアリングアジャストシム

厚さ（mm）	部品番号	厚さ（mm）	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
1.85	38453 4N200	2.05	38453 4N204	2.25	38453 4N208
1.90	38453 4N201	2.10	38453 4N205	2.30	38453 4N209
1.95	38453 4N202	2.15	38453 4N206	2.35	38453 4N210
2.00	38453 4N203	2.20	38453 4N207		

ハイポイドギヤバックラッシュ

1. オイルを抜き取る。
2. リヤカバーを取り外す。「ディファレンシャル ASSY 取り外し」(RFD-19 ページ) を参照のこと。
3. ダミーカバーセット（特殊工具）を下記の要領でギヤキャリヤに取り付ける。
   a. ダミーカバーシム（特殊工具）を左右のサイドベアリングアジャストシムにそれぞれセットする。



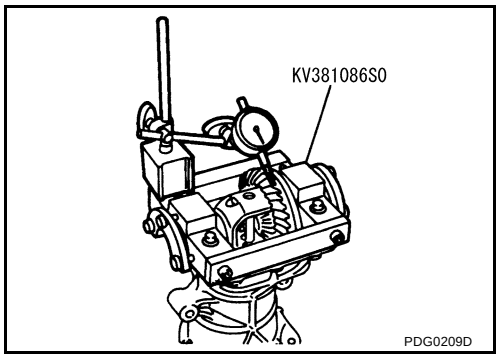
b. ダミーカバー（特殊工具）をキャリヤケースに仮付けする。

c. ダミーカバースペーサー（特殊工具）をダミーカバー（特殊工具）に仮付けする。

d. リヤカバー取付ボルトを規定トルクで締め付ける。

締付トルク　：31 ～ 36N·m　{3.1 ～ 3.7kg·m}

e. ダミーカバースペーサー取付ボルトを均等に規定トルクで締め付ける。



締付トルク　：5.9N·m　{0.6kg·m}

4. ダイアルゲージをドライブギヤのフェース部にセットし、バックラッシュを測定する。

バックラッシュ　：0.10 ～ 0.15mm

- 基準値を外れる場合はサイドベアリングアジャストシムの厚さを移動させ調整する。

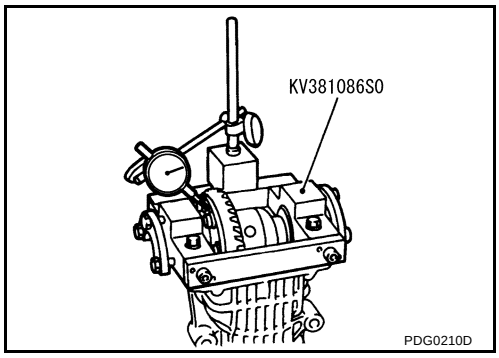
バックラッシュが大きい場合
：ドライブギヤ背面のアジャストシムの厚さを増し、ドライブギヤ歯面側のアジャストシムの厚さを減らす
バックラッシュが小さい場合
：ドライブギヤ背面のアジャストシムの厚さを減らし、ドライブギヤ歯面側のアジャストシムの厚さを増す

サイドベアリングアジャストシム

厚さ（mm）	部品番号	厚さ（mm）	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
1.85	38453 4N200	2.05	38453 4N204	2.25	38453 4N208
1.90	38453 4N201	2.10	38453 4N205	2.30	38453 4N209
1.95	38453 4N202	2.15	38453 4N206	2.35	38453 4N210
2.00	38453 4N203	2.20	38453 4N207		

ドライブギヤ背面振れ

1. オイルを抜き取る。
2. リヤカバーを取り外す。「ディファレンシャル ASSY 取り外し」(RFD-19 ページ) を参照のこと。
3. ダミーカバーセット（特殊工具）を取り付ける。「ハイポイドギヤバックラッシュ」(RFD-14 ページ) を参照のこと。
4. ダイアルゲージをドライブギヤ背面にセットする。
5. ドライブギヤを回転させ、振れを測定する。



振れ限度　：0.05mm

- 基準値を外れる場合はドライブギヤの組付状態（ドライブギヤとディファレンシャルケース間の異物のかみ込み、ディファレンシャルケース又はドライブギヤの変形等）を点検する。

注意：ドライブギヤを交換する場合はドライブピニオンとセットで交換すること。

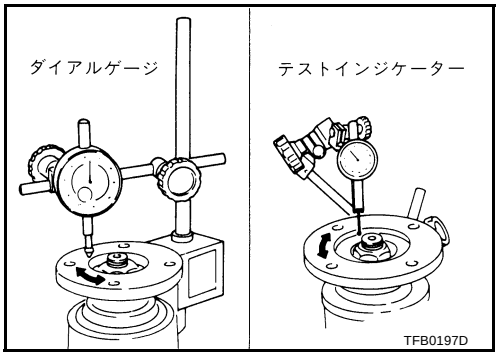
コンパニオンフランジ振れ

1. ダイアルゲージをコンパニオンフランジ面（プロペラシャフト取付ボルト穴より内側）にセットする。
2. コンパニオンフランジを回転させ、振れを点検する。

   振れ限度　：0.13mm

3. テストインジケーターをコンパニオンフランジの内側（インロー径）にセットする。
4. コンパニオンフランジを回転させ、振れを点検する。

   振れ限度　：0.19mm

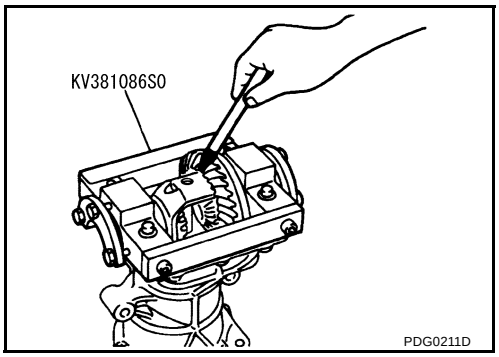


5. 振れが限度値を外れる場合は以下の要領で調整を行う。
   a. コンパニオンフランジとドライブピニオンの位相を 90° ずつずらしながら振れ点検を行い、振れの最小値を探す。
   b. 位相を変えても振れが限度値を外れる場合、コンパニオンフランジを交換する。
   c. コンパニオンフランジを交換しても振れが限度値を外れる場合、ドライブピニオンと電制カップリングとの組付不良、カップリングベアリング又は電制カップリングの不良が考えられる。

歯当たり

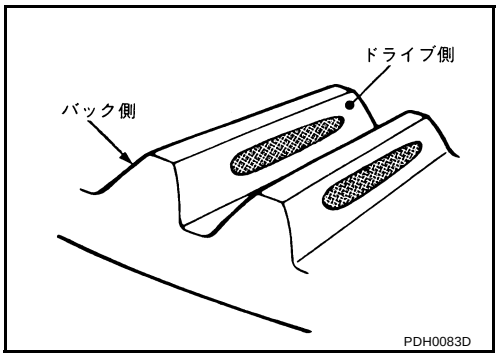
1. オイルを抜き取る。
2. リヤカバーを取り外す。「ディファレンシャル ASSY 取り外し」(RFD-19 ページ) を参照のこと。
3. ダミーカバーセット（特殊工具）を取り付ける。「ハイポイドギヤバックラッシュ」(RFD-14 ページ) を参照のこと。
4. ドライブギヤの歯面に光明丹を塗布する。

   注意：光明丹の塗布はドライブギヤ等分 4 箇所の各ギヤ歯両面 3 ～ 4 枚とすること。



5. ドライブギヤを数回、往復回転させ、ドライブピニオンとドライブギヤとの歯当たりを点検する。

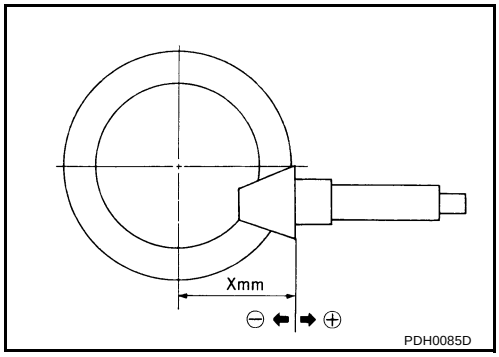
   注意：歯当たりはドライブ側（加速側）とバック側（減速側）の両方を点検すること。



歯当たり状態		ドライブピニオンアジャストシム選択値（mm）		調整の要・不要	発生すると思われる現象
ドライブ側	バック側				
ヒール側 トー側	トー側 ヒール側	厚く	+0.09	要	全車速域のノイズ発生及びスコーリング音発生原因
			+0.06		加速時のノイズ発生原因
			+0.03	不要	ー
			0		
		薄く	−0.03		
			−0.06	要	定速時及び減速時のノイズ発生原因
			−0.09		全車速域のノイズ発生及びスコーリング音発生原因

PDG0212D

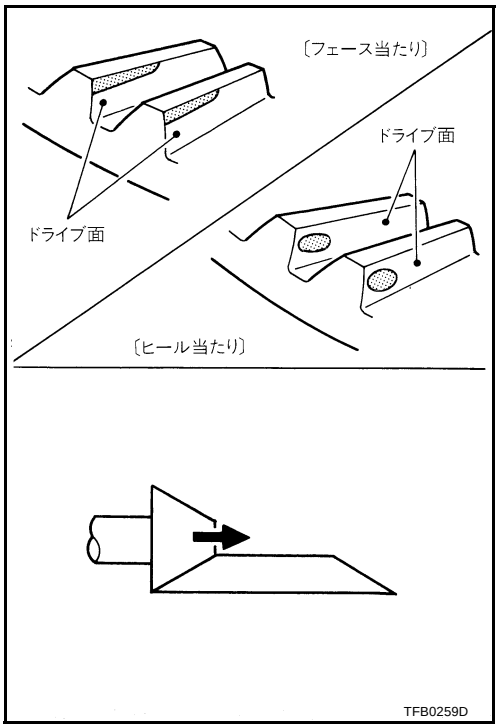
6. **歯当たり調整不良の場合、下記要領でピニオンハイト（図 X 寸法）を調整する。**



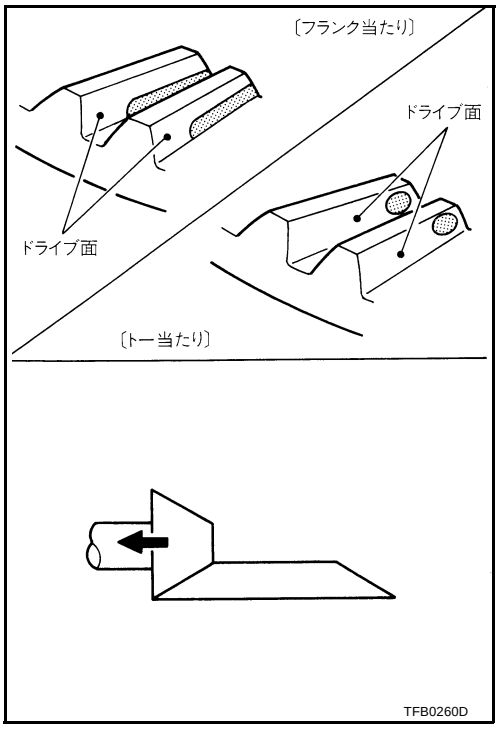
ドライブピニオンアジャストシム

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
1.70	381544N200	2.00	381544N210
1.73	381544N201	2.03	381544N211
1.76	381544N202	2.06	381544N212
1.79	381544N203	2.09	381544N213
1.82	381544N204	2.12	381544N214
1.85	381544N205	2.15	381544N215
1.88	381544N206	2.18	381544N216
1.91	381544N207	2.21	381544N217
1.94	381544N208	2.24	381544N218
1.97	381544N209		

- **フェース当たり及びヒール当たりの場合、ドライブピニオンアジャストシムの厚さを厚くし、ドライブギヤに近づける。**



- **フランク当たり及びトー当たりの場合、ドライブピニオンアジャストシムの厚さを薄くし、ドライブギヤから遠ざける。**



分解、組み立て

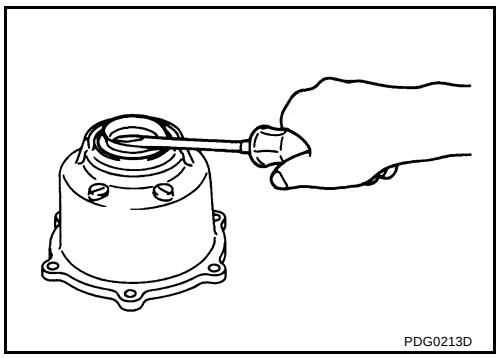
JDS000PN

分解

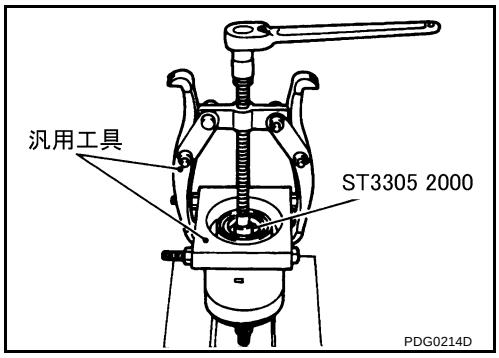
電制カップリング ASSY 取り外し

1. フランジレンチ（汎用工具）を用いて、コンパニオンフランジナットを取り外す。
2. コンパニオンフランジを取り外す。
3. カップリングカバーを取り外す。
4. マイナスドライバーなどを用いて、オイルシールをカップリングカバーより取り外す。

   注意： カップリングカバーに傷を付けないよう注意すること。

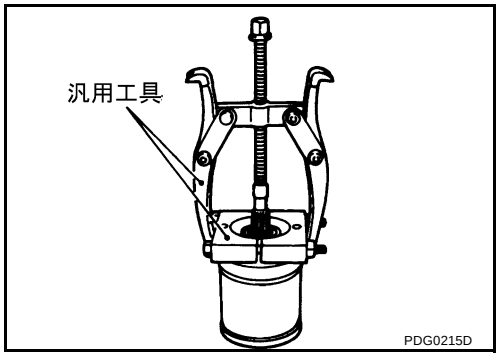


5. 電制カップリング ASSY をドライブピニオンより取り外す。



6. プーラー（汎用工具）を用いて、カップリングフロントベアリングを電制カップリングより取り外す。

   注意： ベアリングとカップリング間のシムはベアリング交換の場合、再組み付けすること。

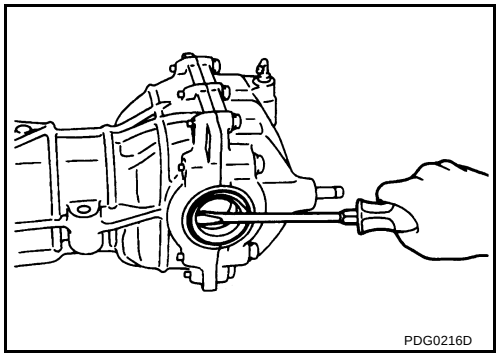


ディファレンシャル ASSY 取り外し

1. マイナスドライバーなどを用いて、サイドオイルシールをキャリヤケース ASSY より取り外す。

   注意： キャリヤケース及びリヤカバーに傷を付けないよう注意すること。

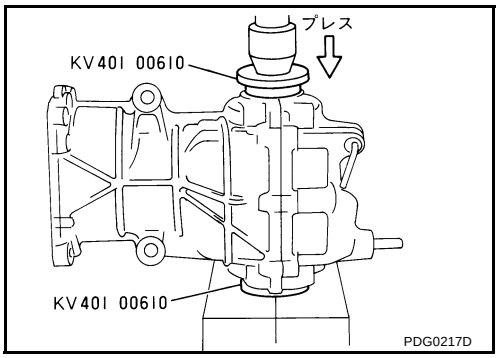
2. リヤカバー取付ボルトを取り外す。



3. 左右のサイドベアリングアジャストシム部にドリフト（特殊工具）を各々にセットし、ディファレンシャルケース ASSY をサイドベアリングと共にプレスにて加圧圧縮してキャリヤケース ASSY 及びリヤカバーを取り外す。

   注意：プレスでの加圧はキャリヤケース ASSY 及びリヤカバーが取り外せるまでとし、最大加圧は 1 トンまでとすること。

   参考：ディファレンルケース ASSY、サイドベアリング及びアジャストシムはキャリヤケース及びリヤカバーに圧縮されて組み込まれている。

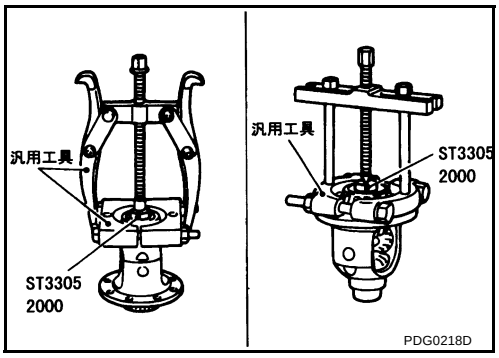


4. サイドベアリングアジャストシム及びサイドベアリングアウターレースを取り外す。

   注意：サイドベアリングアジャストシムは、あとで元の取付位置（左右）が分るよう、マーキングなどしておくこと。

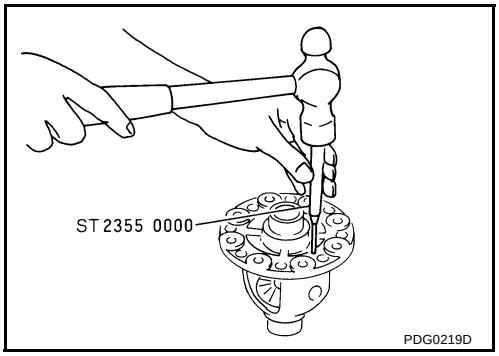
5. ドライブギヤ取付ボルトを外し、ドライブギヤをディファレンシャルケースより取り外す。

6. プーラー（汎用工具）及びドリフト（特殊工具）を用いて、サイドベアリングインナーレースを取り外す。



7. ピンポンチ（特殊工具）を用いて、ロックピンをピニオンメートシャフトより抜き取る。

8. ピニオンメートシャフト、ピニオンメートギヤ、ピニオンメートスラストワッシャー、サイドギヤ、サイドギヤスラストワッシャーをディファレンシャルケースより取り外す。



ドライブピニオン ASSY 取り外し

1. 電制カップリング ASSY を取り外す。「電制カップリング ASSY 取り外し」(RFD-19 ページ) を参照のこと。

2. ディファレンシャルケース ASSY を取り外す。「ディファレンシャル ASSY 取り外し」(RFD-19 ページ) を参照のこと。

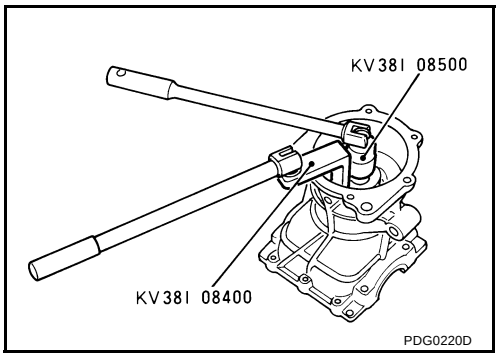
3. ドライブピニオンのスプライン部にドライブピニオンソケット（特殊工具）をセットし、ピニオンナットレンチ（特殊工具）を用いて、ピニオンナットを取り外す。

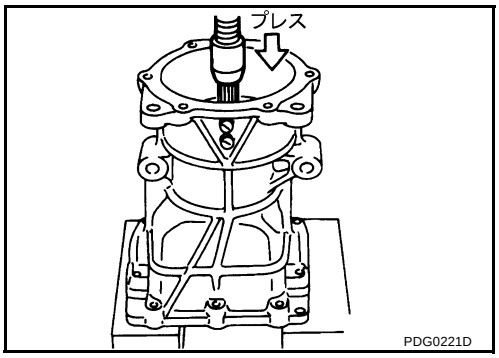
4. センターオイルシールを取り外す。

5. ドライブピニオン ASSY をキャリヤケースよりプレスにて取り外す。

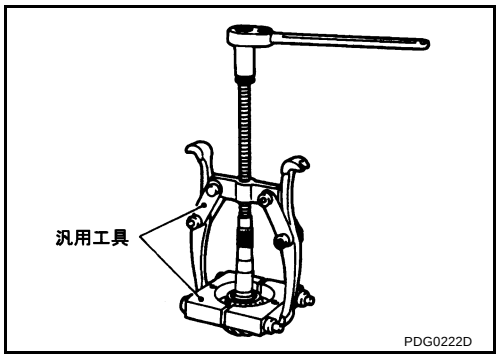
6. ピニオンフロントベアリングインナーレースを取り外す。

7. コラプシブルスペーサーを取り外す。





8. プーラー（汎用工具）を用いて、ピニオンリヤベアリングインナーレースをドライブピニオンより取り外す。

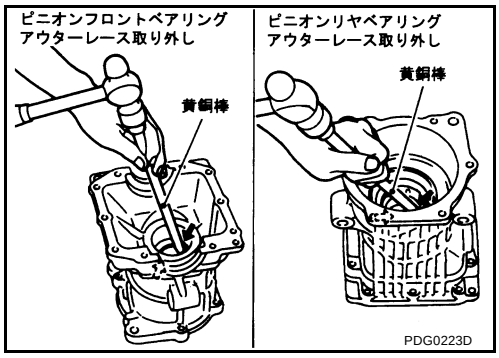


9. 黄銅棒などを用いて、キャリヤケースの切り欠き部（2 箇所）よりピニオンフロントベアリングアウターレースを均等に軽打し、ピニオンフロントベアリングアウターレースを取り外す。

   注意： キャリヤケースに傷を付けないよう注意すること。

10. 黄銅棒などを用いて、キャリヤケースの切り欠き部（2 箇所）よりドライブピニオンアジャストシムを均等に軽打し、ドライブピニオンアジャストシム及びピニオンリヤベアリングアウターレースを取り外す。

    注意： キャリヤケースに傷を付けないよう注意すること。

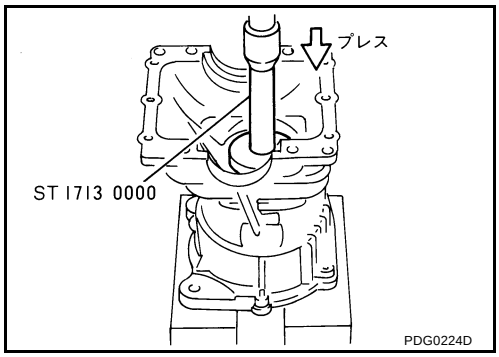


組み立て

ドライブピニオン ASSY 組み立て

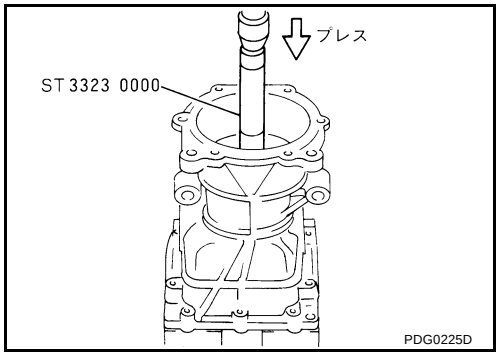
1. キャリヤケースに分解前と同じ厚さのドライブピニオンアジャストシムを組み付け、ドリフト（特殊工具）を用いて、ピニオンリヤベアリングアウターレースをキャリヤケースに圧入する。

   注意：
   - ベアリングアウターレース圧入始めにハンマーなどで軽打し、キャリヤケースとベアリングアウターレースを直角にすること。
   - ピニオンリヤベアリングアウターレースは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



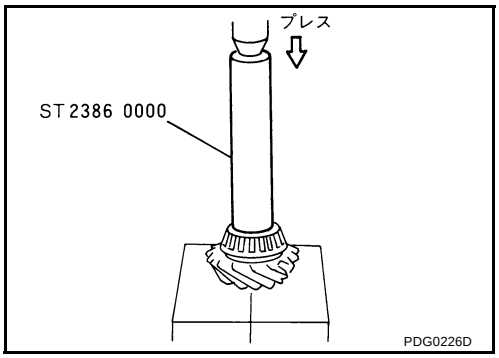
2. ドリフト（特殊工具）を用いて、ピニオンフロントベアリングアウターレースをキャリヤケースに圧入する。

   注意：
   - ベアリングアウターレース圧入始めにハンマーなどで軽打し、キャリヤケースとベアリングアウターレースを直角にすること。
   - ピニオンフロントベアリングアウターレースは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



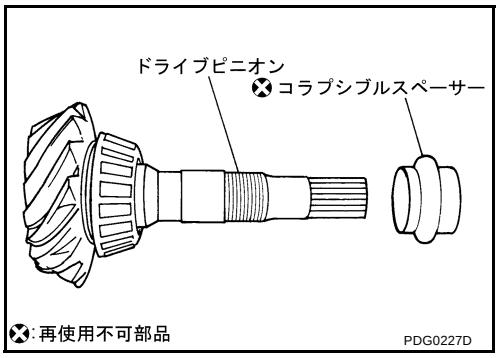
3. ドリフト（特殊工具）を用いて、ピニオンリヤベアリングインナーレースをドライブピニオンに圧入する。

   注意： ピニオンリヤベアリングインナーレースは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



4. ハイポイドギヤの歯当たり及びバックラッシュの点検及び調整を下記の要領で行った後、コラプシブルスペーサーをドライブピニオンに組み付ける。

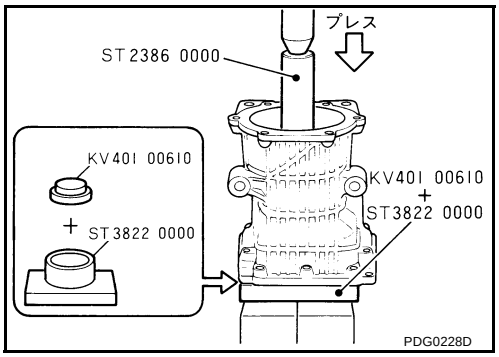
   注意： • コラプシブルスペーサーの組付方向に注意すること。
   • コラプシブルスペーサーは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



   a. ピニオンベアリングにデフオイルを塗布し、ドライブピニオンをキャリヤケースに組み付ける。

      注意： コラプシブルスペーサーは組み付けないこと。

   b. ピニオンフロントベアリングインナーレースをドライブピニオンに組み付け、ドリフト（特殊工具）及びプレススタンド（特殊工具）を用いて、ピニオンナットを締め込める位置まで圧入する。



   c. 取り外したピニオンナット及びピニオンワッシャーをドライブピニオンに仮付けする。

      参考： 取り外したピニオンナットはプリロードトルク測定のためのみに使用する。

   d. ドライブピニオンのスプライン部にドライブピニオンソケット（特殊工具）をセットし、ピニオンナットレンチ（特殊工具）を用いて、ピニオンナットを規定プリロードトルクとなるまで締め付ける。

      注意： ピニオンナット締め付けの際はコラプシブルスペーサーが組み付けられていない状態なので、プリロードを測定しながら 5 ～ 10 ° ずつ締め込み、締め込み過ぎに注意しながら行うこと。

e. サイドベアリングにデフオイルを塗布し、分解前と同じ厚さ又は組み付いていたサイドベアリングアジャストシムを分解前の取付位置に組み付け、ディファレンシャルケース ASSY をキャリヤケースに取り付ける。「ディファレンシャル ASSY 取り付け」(RFD-24 ページ)を参照のこと。

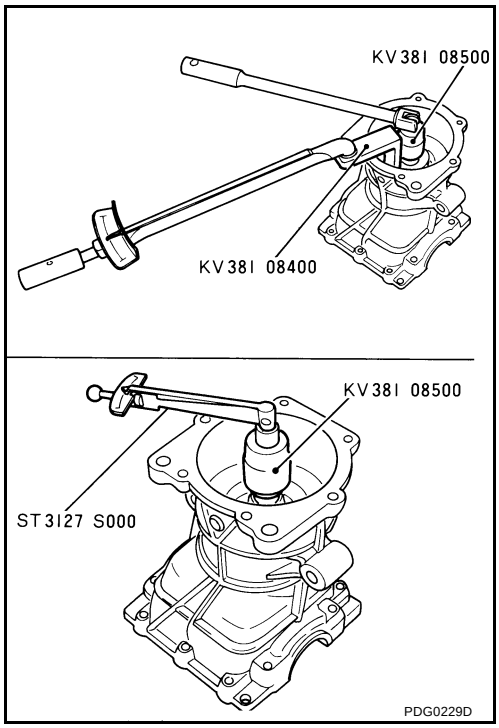
f. ダミーカバーセット（特殊工具）を取り付け、歯当たりの点検及び調整を行う。「歯当たり」(RFD-16 ページ)を参照のこと。

g. バックラッシュの点検及び調整を行う。「ハイポイドギヤバックラッシュ」(RFD-14 ページ)を参照のこと。

h. ダミーカバーセット（特殊工具）を外し、ディファレンシャルケース ASSY を取り出す。

i. ピニオンナット及びピニオンワッシャー、ピニオンフロントベアリングインナーレースを外し、ドライブピニオンを取り外す。

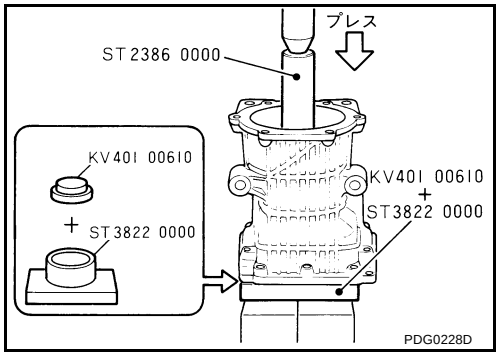
5. コラプシブルスペーサーを組み付けたドライブピニオンをキャリヤケースに組み付ける。



6. ドリフト（特殊工具）及びプレススタンド（特殊工具）を用いて、ピニオンフロントベアリングインナーレースをドライブピニオンにピニオンナットを締め込める位置まで圧入する。

7. ピニオンナットのネジ部及び座面に防せい油を塗布し、ピニオンナット及びワッシャーをドライブピニオンに仮付けする。

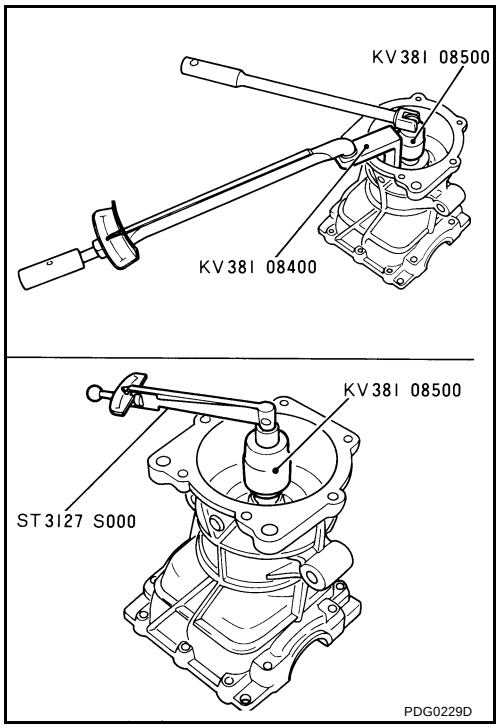
注意：ピニオンナットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



8. ドライブピニオンのスプライン部にドライブピニオンソケット（特殊工具）をセットし、ピニオンナットレンチ（特殊工具）を用いて、ピニオンナット締付トルク及びピニオンベアリングプリロードトルクを調整する。

ピニオンナット締付ナット
：99 ～ 431N-m（10.0 ～ 44.0kg-m）
ピニオンベアリングプリロードトルク
：0.69 ～ 1.17N-m（0.07 ～ 0.12kg-m）

注意：
- ピニオンナットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
- ピニオンナット締付トルクは下限値から調整していくこと。
- 規定プリロードトルクを越えた場合はコラプシブルスペーサーを交換して再度締め付けて調整すること。決してピニオンナットを緩めてプリロードトルクを調整しないこと
- 調整後、ドライブピニオンを 2 ～ 3 回往復回転させ、異音、回転不良などがないか確認すること。



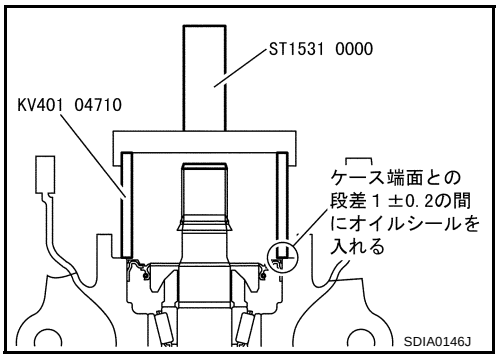
9. センターオイルシールを取り付ける。

10. ディファレンシャルケース ASSY を取り付ける。「ディファレンシャル ASSY 取り付け」(RFD-24 ページ) を参照のこと。

    注意： リヤカバーは取り付けないこと。

11. ダミーカバーセット（特殊工具）を取り付け、バックラッシュ、ドライブギヤ背面振れ及び歯当たりの点検を行う。「歯当たり」(RFD-16 ページ) を参照のこと。

12. リヤカバーを取り付け、オイルシールを打ち込む。「ディファレンシャル ASSY 取り付け」(RFD-24 ページ) を参照のこと。



13. トータルプリロードトルクの点検を行う。「トータルプリロードトルク」(RFD-14 ページ) を参照のこと。

14. 電制カップリング ASSY を取り付ける。「電制カップリング ASSY 取り付け」(RFD-26 ページ) を参照のこと。

15. コンパニオンフランジ振れの点検を行う。「コンパニオンフランジ振れ」(RFD-16 ページ) を参照のこと。

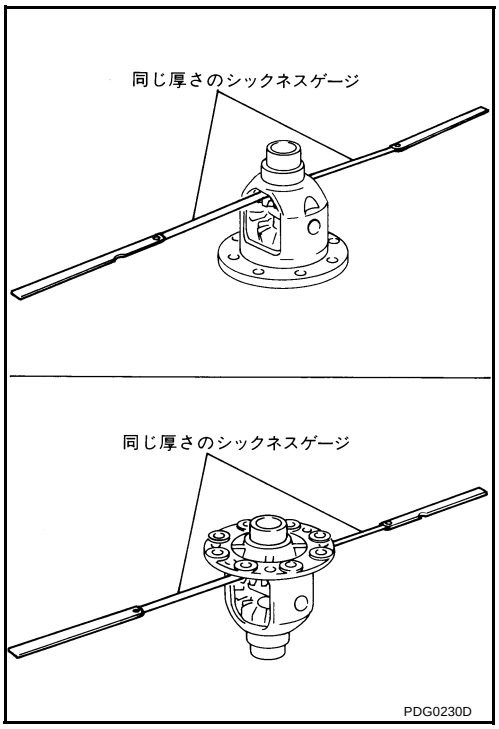
ディファレンシャル ASSY 取り付け

1. サイドギヤに分解前と同じ厚さ又は組み付いていたサイドギヤスラストワッシャーを組み付ける。

2. サイドギヤ及びサイドギヤスラストワッシャー、ピニオンメートギヤ及びピニオンメートスラストワッシャーをディファレンシャルケースに組み込み、ピニオンメートシャフトを入れ、仮組みしておく。

3. サイドギヤエンドプレーを下記の要領で測定し、サドギヤスラストワッシャーを選択する。
   - サイドギヤを回転させてサイドギヤ背面とディファレンシャルケースのクリアランスをシックネスゲージを用いて、異なる 3 箇所の位置で測定し、その平均値を求め、下記基準値となるようにサイドギヤスラストワッシャーを選択する。（反対側のクリアランスも同様に測定すること。

   サイドギヤエンドプレー基準値 ：0.2mm 以下で異常な抵抗なく各ギヤが円滑に回転すること



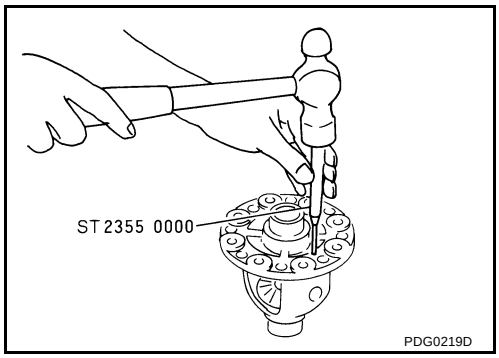
厚さ（mm）	部品番号	厚さ（mm）	部品番号
0.74	38424 4N200	0.83	38424 4N203
0.77	38424 4N201	0.86	38424 4N204
0.80	38424 4N202		

注意：
- 測定時、測定する側のサイドギヤが上になるようディファレンシャルケースを直立させること。また、サイドギヤの傾きを防止するため、両端から同じ厚さのシックネスゲージを入れて測定すること。
- サイドギヤスラストワッシャーは左右各 1 枚の選択とすること。

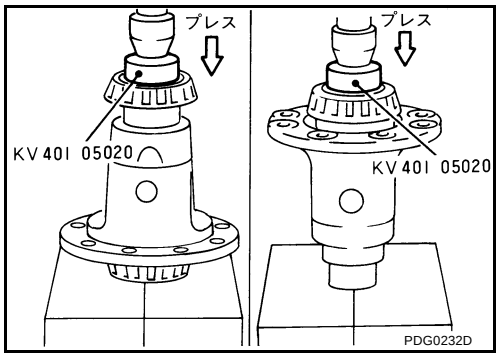
4. 選択したサイドギヤスラストワッシャーをディファレンシャルケースに組み込む。

5. ピンポンチ（特殊工具）を用いて、ロックピンをピニオンメートシャフトに打ち込む。

   注意： ロックピンは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



6. ドリフト（特殊工具）を用いて、サイドベアリングインナーレースをディファレンシャルケースに圧入する。



7. ドライブギヤのネジ部にネジロックスーパー 1303（KA420 89904）を塗布する。

   注意： ドライブギヤ背面、ネジ穴部及びドライブギヤボルトが十分に清掃、脱脂されていること。

8. ディファレンシャルケースにドライブギヤを組み付け、ドライブギヤボルトのネジ部及び座面に防せい油を塗り、規定トルクで締め付ける。

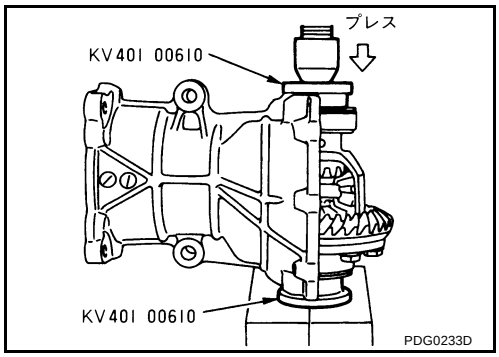
   締付トルク　　：94 ～ 112N·m {9.5 ～ 11.5kg·m}

9. サイドベアリングにデフオイルを塗布し、分解前と同じ厚さ又は組み付いていたサイドベアリングアジャストシム（左右各 2 枚）をサイドベアリングアウターレースと共にディファレンシャルケースに組み付ける。

   なお、既にサイドベアイングアジャストシムを選択している場合は、選択したものを使用する。

10. 左右のサイドベアリングアジャストシム部にドリフト（特殊工具）を各々にセットし、ディファレンシャルケース ASSY をサイドベアリングと共にプレスにて加圧圧縮してディファレンシャルケース ASSY にキャリヤケース ASSY を取り付ける。

    注意：
    - ドリフト（特殊工具）はアジャストシム中央に確実にセットすること。
    - プレスでの加圧はディファレンシャル ASSY にキャリヤケース ASSY が取り付く最低圧とし、最大加圧は 1 トンまでとすること。
    - アジャストシムをたたいて組み付けると、キャリヤケースが傷付く恐れがあるため、行わないこと。



11. ダミーカバーセット（特殊工具）を取り付け、バックラッシュ、ドライブギヤ背面振れ、歯当たり及びトータルプリロードトルクの点検及び調整を行う。「分解前の点検」(RFD-14 ページ) 参照

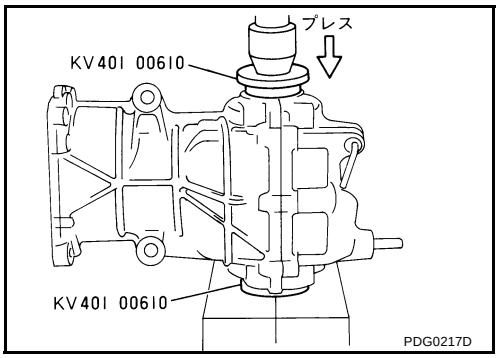
12. ダミーカバーセット（特殊工具）を取り外す。

13. リヤカバーのキャリヤケース取付面にスリーボンド 1217 又は相当品を全周に塗布する。

    注意： 取付面に付着した古いシール剤は取り除き、塗布面及び取付面に付着した水分、油脂、異物などは除去すること。

14. 左右のサイドベアリングアジャストシム部にドリフト（特殊工具）を各々にセットし、ディファレンシャルケース ASSY をサイドベアリングと共にプレスにて加圧圧縮してリヤカバーを取り付ける。

注意：
- ドリフト（特殊工具）はアジャストシム中央に確実にセットすること。
- プレスでの加圧はリヤカバーが取り付く最低圧とし、最大加圧は 1 トンまでとすること。
- リヤカバーを無理にたたいて組み付けると、アジャストシムによりリヤカバーが傷付く恐れがあるため、行わないこと。



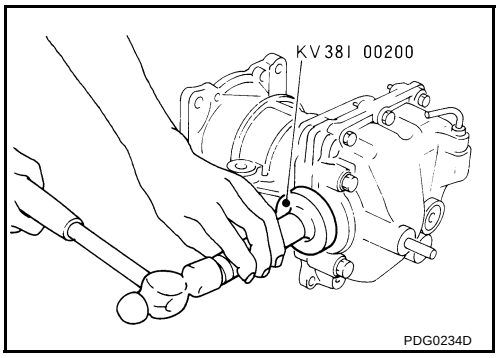
15. リヤカバー取付ボルトを規定トルクで締め付ける。

締付トルク

M8 ボルト	：14 ～ 17N·m {1.4 ～ 1.8kg·m}
M10 ボルト	：31 ～ 36N·m{3.1 ～ 3.7kg·m}

16. ドリフト（特殊工具）を用いて、ケース端面と面一となるようにオイルシールを打ち込む。

注意：
- オイルシールは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
- オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリース No.2 を、オイルシール外周面にはデフオイルを塗布すること。

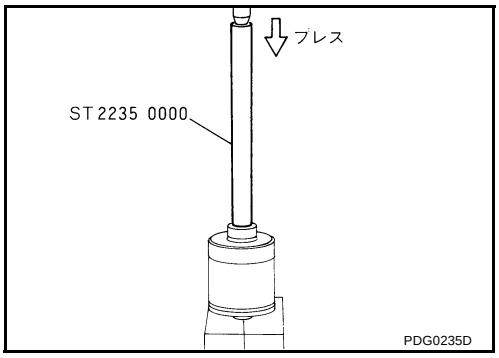


17. トータルプリロードトルクの点検を行う。「トータルプリロードトルク」(RFD-14 ページ) を参照のこと。

電制カップリング ASSY 取り付け

1. ドリフト（特殊工具）を用いて、カップリングフロントベアリングを電制カップリングに取り付ける。。

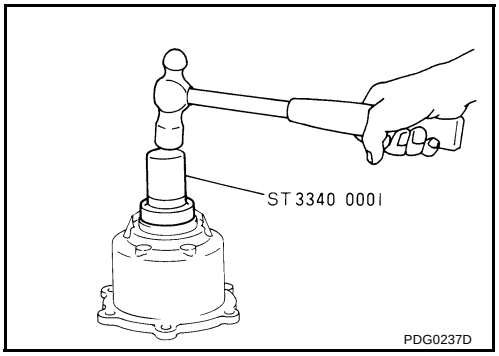
注意：分解時、電制カップリング～ベアリング間にあったシムを忘れずに取付けること。このとき、シムの面取側をカップリングにして組付けのこと



2. 電制カップリング ASSY をドライブピニオンに組み付ける。

3. ドリフト（特殊工具）を用いて、ケース端面と面一なるようにオイルシールを打ち込む。

注意：
- オイルシールは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
- オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリース No.2 を、オイルシール外周面にはデフオイルを塗布すること。

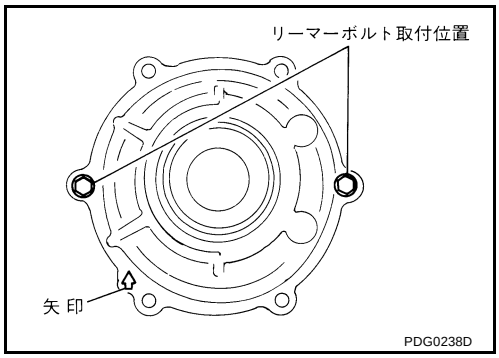


4. カップリングカバーのキャリヤケース取付面にスリーボンド 1217 又は相当品を全周に塗布する。

   注意： 取付面に付着した古いシール剤は取り除き、塗布面及び取付面に付着した水分、油分、異物などは除去すること。

5. 矢印が上方へ向くようにカップリングカバーをキャリヤケース ASSY に組み付け、リーマーボルト（2 本）を図の位置に仮付けする。

6. リーマーボルト及びカップリングカバー取付ボルトを規定トルクで締め付ける。



7. コンパニオンフランジを組み付ける。

8. フランジレンチ（汎用工具）を用いて、コンパニオンフランジナットを規定トルクで締め付ける。

   注意： コンパニオンフランジナットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

9. コンパニオンフランジ振れの点検を行う。「コンパニオンフランジ振れ」(RFD-16 ページ) を参照のこと。

サービスデータ

PFP:37000

リングギヤ振れ

JDS000PO

型式	R145
ドライブギヤ背面振れ限度	0.05mm 以下

サイドギヤクリアランス調整

JDS000PP

型式	R145
サイドギヤ背面クリアランス	0.2mm 以下で差動回転時に各ギヤが異常な抵抗がなく円滑に回転すること

サイドギヤ背面クリアランス調整用スラストワッシャー

	厚さ（mm）	部品番号	厚さ（mm）	部品番号
スラストワッシャー	0.74 0.77 0.80	38424 4N200 38424 4N201 38424 4N202	0.83 0.86	38424 4N203 38424 4N204

ドライブピニオンプリロード調整

JDS000PQ

ドライブピニオンベアリング調整方法	コラプシブルスペーサー
ドライブピニオンプリロード	0.69 ～ 1.17N·m{0.07 ～ 0.12kg·m}

ドライブピニオンプリロード調整用アジャストシム

	厚さ（mm）	部品番号	厚さ（mm）	部品番号
アジャストシム	1.70 1.73 1.76 1.79 1.82 1.85 1.88 1.91 1.94 1.97	38154 4N200 38154 4N201 38154 4N202 38154 4N203 38154 4N204 38154 4N205 38154 4N206 38154 4N207 38154 4N208 38154 4N209	2.00 2.03 2.06 2.09 2.12 2.15 2.18 2.21 2.24	38154 4N210 38154 4N211 38154 4N212 38154 4N213 38154 4N214 38154 4N215 38154 4N216 38154 4N217 38154 4N218

サイドベアリングプリロード調整

JDS000PR

サイドベアリング調整方法	アジャストシム
サイドベアリングプリロード	0.64 ～ 0.98N·m{0.65 ～ 0.10kg·m}

サイドベアリングプリロード調整用アジャストシム

	厚さ（mm）	部品番号	厚さ（mm）	部品番号
アジャストシム	1.85 1.90 1.95 2.00 2.05 2.10	38154 4N200 38154 4N201 38154 4N202 38154 4N203 38154 4N204 38154 4N205	2.15 2.20 2.25 2.30 2.35	38154 4N206 38154 4N207 38154 4N208 38154 4N209 38154 4N210

トータルプリロード

JDS000PS

トータルプリロード（オイルシール取り付け時）	1.33 ～ 2.15N·m（0.135 ～ 0.22kg·m）
リングギヤバックラッシュ	0.10 ～ 0.15mm